



## 株式会社荏原製作所

2023年12月期 第1四半期決算説明会

2023年5月15日



## 登壇

---

大崎：お待たせいたしました。本日はご多用のところ、株式会社荏原製作所の2023年12月期第1四半期決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまより会を始めさせていただきます。



# 2023年12月期第1四半期 決算説明会資料 荏原 (6361)

2023年5月15日

Looking ahead,  
going beyond expectations  
*Ahead > Beyond*

株式会社 荏原製作所

<b>当決算におけるポイント</b>	<b>P3</b>	<b>4. 補足資料</b>	
<b>1. FY23 1Q連結決算サマリ</b>		・受注高	<b>P20</b>
・連結業績	<b>P5</b>	・売上収益	<b>P21</b>
・セグメント別	<b>P6</b>	・営業利益	<b>P22</b>
・営業利益増減分析	<b>P7</b>	・受注残高	<b>P23</b>
・地域別売上収益	<b>P8</b>	・地域別売上収益	<b>P24</b>
<b>2. FY23 1Qセグメント別業績</b>		・サービス&サポート(S&S)売上収益	<b>P25</b>
・建築・産業	<b>P10</b>	・貸借対照表	<b>P26</b>
・エネルギー	<b>P11</b>	・キャッシュ・フロー	<b>P27</b>
・インフラ	<b>P12</b>	・事業セグメントの変更	<b>P28</b>
・環境	<b>P13</b>		
・精密・電子	<b>P14</b>		
<b>3. FY23 業績予想</b>			
・連結業績	<b>P16</b>		
・セグメント別	<b>P17</b>		
・営業利益増減分析	<b>P18</b>		

## ■ 略語の説明

- ・ FY：会計年度（例「FY23」は2023年12月期会計年度）
- ・ 「1Q」は第1四半期の数値、「1-2Q」、「1-3Q」、「1-4Q」はそれぞれ第1四半期から各四半期末までの累計値であることを示している
- 本資料で示す財務数値はIFRSベースで記載している

2 Copyright© Ebara Corporation, All rights reserved

本日の15時に、決算関連の書類を東証のプラットフォーム、並びに当社ホームページに開示しております。そちらもご覧いただきながらご参加いただきますようお願い申し上げます。

私どもの出席者をご紹介します。経営企画・経理財務統括部、執行役、細田修吾でございます。

**細田**：細田でございます。よろしくお願いいたします。

**大崎**：司会は経営企画部、大崎が務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

本日のスケジュールでございますが、決算概要を細田より説明させていただき、その後に皆様からのご質問をお受けいたします。終了時刻は17時を予定しております。

また、本日の会議の内容は、Zoomのオンデマンドにてご覧いただくことができます。詳細は会議終了後にメールにてご連絡いたします。それでは、細田より説明に入らせていただきます。

**細田**：では、説明させていただきます。担当執行役の細田でございます。皆様、ご出席ありがとうございます。

## FY23 1Q業績

		前年同期比*
受注高	1,979 億円	+209 億円 +11.8% ↗
売上収益	1,840 億円	+312 億円 +20.5% ↗
営業利益	152 億円	+10 億円 +7.7% ↗
営業利益率	8.3%	-1.0pts

\* △は+5%以上、▽は-5%以上の変化、→は変化が±5%未満

## FY23 業績予想

		前期比*	前回計画比*
受注高	7,400 億円	-752 億円 -9.2% ↘	-480 億円 -6.1% ↘
売上収益	7,470 億円	+661 億円 +9.7% ↗	-60 億円 -0.8% →
営業利益	710 億円	+4 億円 +0.6% →	-
営業利益率	9.5%	-0.9pts	+0.1pts

## トピックス

### FY23 1Q 業績

- 受注高、売上収益、営業利益はいずれも1Qとして過去最高額を更新
- 受注高はエネルギー、環境が好調に推移したことで、精密・電子の減少をカバー
- 営業利益は増収による貢献が大きかったが、収益性悪化や固定費増加により営業利益率は若干低下

### FY23 業績予想

- 建築・産業およびエネルギーの好調な1Q業績の進捗等を踏まえ、同セグメントの上半期および通期の業績予想を上方修正
- 精密・電子における市場減速および業績見通しを踏まえ、同セグメントの上半期および通期の業績予想を下方修正
- 上記の結果、期初業績予想に対して全体では受注は減少も、売上収益は微減、営業利益については据え置き

### その他

- 今期より対面市場軸での新セグメント（旧風水力を3セグメントに細分化）にて業績開示を開始

3 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

初めに、今回の決算におけるポイントについて、今表示しているスライドでご説明させていただきます。第1四半期の連結業績ですが、受注、売上、営業利益はいずれも第1四半期として過去最高であった前年同期を若干上回りました、過去最高数値の更新をしております。

受注高は、精密・電子事業の受注が前年同期比で減少しましたが、それに対してエネルギー事業や環境事業で大型案件を第1四半期中に複数件受注したことによりまして、全社では前年同期を上回っている状況でございます。

売上収益に関しましては、環境事業除く4事業セグメントで増収となり、その結果、営業利益も前年同期比増収増益となっております。一方で、営業利益率は、全体としての収益性の悪化や、人件費を中心とした固定費の増加によりまして、前年同期から若干低下しているという状況でございます。

それを踏まえまして、通期の業績予想につきまして若干変更しております。収益改善の取り組みを進めてきました建築・産業セグメント、およびエネルギー事業セグメントにつきまして、期初の想定よりも順調に進捗しておりますので、それを反映させまして、上期、通期の業績予想を上方修正しております。

一方で、半導体関連市場については、中長期的な拡大基調の想定は変わりませんが、今現在の調整局面において、期初の想定よりも市場の回復の時期が後ろ倒しとなる蓋然性が高まってきましたので、当社の精密・電子事業においても業績予想を下方修正することにいたしました。

それらを合わせました全社の通期の業績予想としましては、受注、売上は精密・電子事業の影響もあって下方修正となりますが、営業利益につきましては、建築・産業、エネルギー事業の上方修正が寄与しまして、営業利益については期初の想定通りの710億円の目標値を維持するというような通期の業績予想といたしたいと思っております。

その他としましては、今期から対面市場別の組織へ移行しておりますので、新たなセグメント開示としまして、旧風水力事業を3つに分けた5つのセグメントでの業績開示をさせていただいております。

以上が本決算におけるポイントでございます。



- 1. FY23 1Q 連結決算サマリ**
2. FY23 1Q セグメント別業績
3. FY23 業績予想
4. 補足資料

それでは決算の詳細説明に入らせていただきます。

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY22 1Q a	FY23 1Q b	増減 b-a	増減率 (b-a)/a
受注高	1,770	1,979	+209	+11.8%
売上収益	1,528	1,840	+312	+20.5%
営業利益	141	152	+10	+7.7%
営業利益率	9.3%	8.3%	-1.0pts	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	102	80	-21	-21.0%
<b>為替レート</b>				
対米ドル (円)	116.23	132.31	+16.08	
対ユーロ (円)	130.42	141.92	+11.50	
対人民元 (円)	18.31	19.33	+1.02	

5 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

5 ページ目をご覧ください。第 1 四半期の連結業績でございます。

受注は前年同期から 209 億円増加しての 1,979 億円、売上は前年同期から 312 億円増加しまして 1,840 億円、営業利益は前年同期から若干ですけど 10 億円増加しまして、152 億円となっております。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は 21 億円、前年同期から減少して 80 億円となりました。これは四半期利益の減少した理由としましては、主に為替差損益の悪化や税金関連費用の増加によるものでございます。

1 月から 3 月までの期中平均為替レートにつきましては、各主要通貨で前年度比円安が若干進んでいる状況にございまして、営業利益に対しては前年同期比 12 億円の為替による営業利益のプラスで寄与しております。

1. FY23 1Q 連結決算サマリ  
セグメント別



(単位：億円) 発表日(年/月/日)		FY22 1Q a	FY23 1Q b	増減 b-a	増減率 (b-a)/a
連結合計	受注高	1,770	1,979	+209	+11.8%
	売上収益	1,528	1,840	+312	+20.5%
	営業利益	141	152	+10	+7.7%
	営業利益率	9.3%	8.3%	-1.0pts	
建築・産業	受注高	473	522	+49	+10.5%
	売上収益	411	530	+119	+29.0%
	営業利益	20	39	+19	+96.2%
	営業利益率	4.9%	7.5%	+2.6pts	
エネルギー	受注高	291	623	+331	+113.7%
	売上収益	288	359	+71	+24.8%
	営業利益	15	11	-4	-30.3%
	営業利益率	5.5%	3.1%	-2.4pts	
インフラ	受注高	146	156	+9	+6.8%
	売上収益	176	203	+26	+15.1%
	営業利益	44	48	+3	+8.4%
	営業利益率	25.2%	23.7%	-1.5pts	
環境	受注高	163	333	+169	+103.6%
	売上収益	216	178	-37	-17.2%
	営業利益	19	18	-1	-7.0%
	営業利益率	9.1%	10.2%	+1.1pts	
精密・電子	受注高	689	340	-349	-50.7%
	売上収益	431	564	+133	+30.8%
	営業利益	47	34	-12	-26.6%
	営業利益率	11.0%	6.2%	-4.8pts	
その他、調整	受注高	4	2	-2	-45.7%
	売上収益	3	3	0	-20.6%
	営業利益	-6	0	+6	-
	営業利益率	-164.4%	1.9%	+166.3pts	

6 Copyright(C) Ebara Corporation, All rights reserved

6 ページ目です。セグメント別の決算のサマリーでございます。

今期より風水力事業として開示していたセグメントを、建築・産業、エネルギー、インフラの3つのセグメントに分けて合計5セグメントでの開示になります。

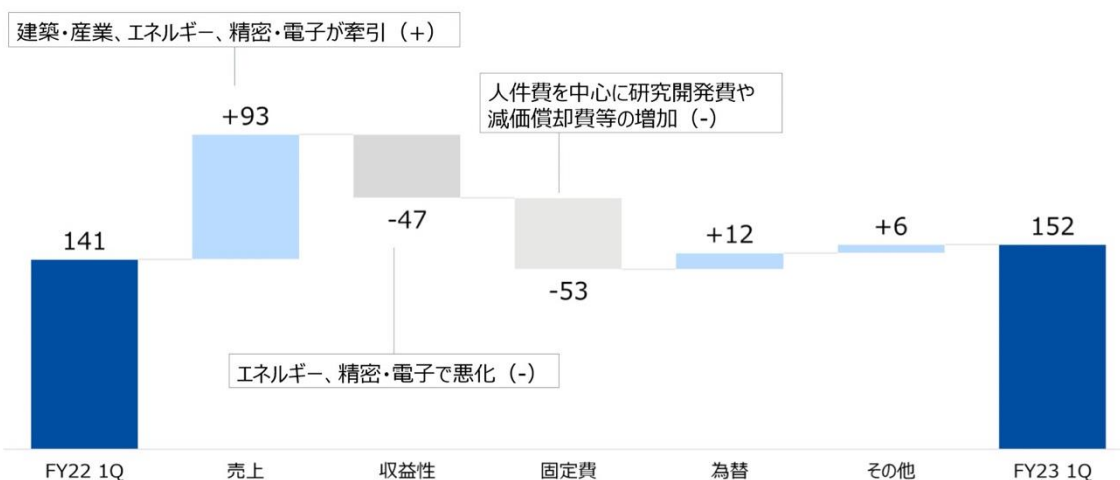
まず、受注につきましては、精密・電子事業の半導体需要の落ち込みによって、お客様側での設備投資の縮小や投資計画延期の影響などを受けまして、精密・電子事業が前年同期比で大きく減少しているところがございます。一方、受注のエネルギーと環境事業におきましては大型案件が複数受注ありましたことに加えて、建築・産業やインフラでも受注が若干伸長したことから、全体としては209億円の前年同期比増加となっております。

売上につきましては、国内や中国市場で需要の回復が前年同期に比べて見られまして、建築・産業事業が伸びていること、および北米市場が比較的好調だったエネルギー事業、さらに期初の受注残がたくさんありまして、その受注残の消化が進んでまいりました精密・電子事業が牽引しまして、売上としては前年同期比で312億円の増加となっております。

営業利益につきましては、前年同期比10億円増加しております。次のページで前年の営業利益に対する増減要因についてのご説明をさせていただきます。



1Qは増収に加え、円安も寄与し増益



7 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

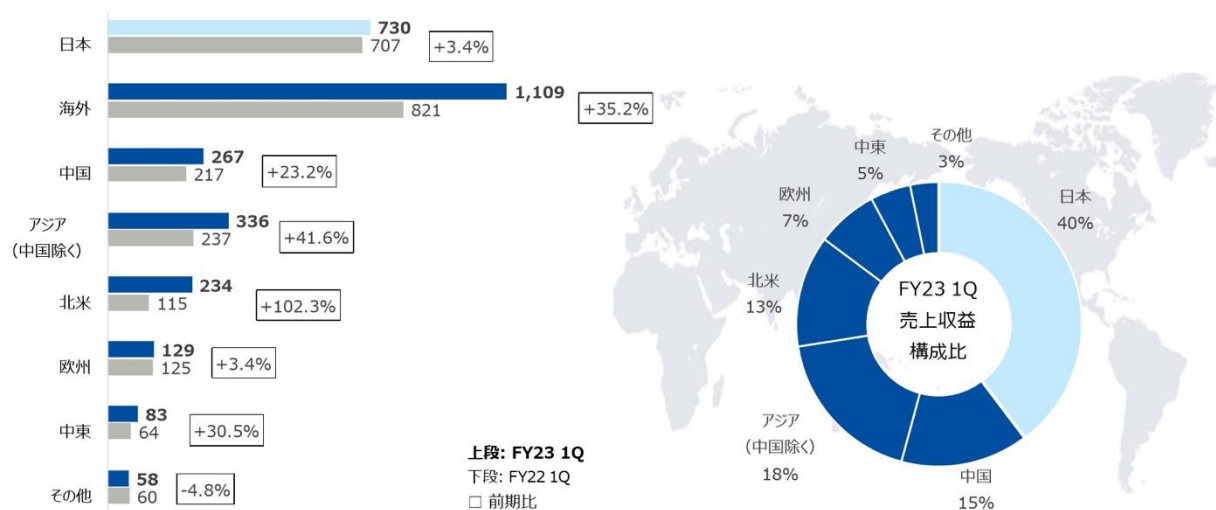
このページのウォーターフォールチャートが、前年の同期の営業利益と第1四半期の営業利益の要因分析になります。

営業利益が前年同期から10億円増加しましたが、基本的には売上が増加したことによる売上要因で93億円のプラス、一方で収益性がミックスの悪化等で悪化しまして、特にエネルギー事業および精密・電子事業におけるミックスの悪化などの影響で47億円のマイナスが収益性に見られます。

それと同時に固定費の増加、これは業績連動賞与等によって前年度の業績が良かったことによって、その賞与分の固定費が増加していること、および研究開発費などの増加や、成長投資や基盤強化のためのシステム投資などの増加による減価償却費の増大などによって、固定費が53億円のマイナス分に寄与しています。

結果として、第1四半期の増収分を収益性の固定費が相殺する形になってはいますが、最終的には為替分の10億円程度が増益となっているというような状況で、為替を除くと大体去年と営業利益としては同水準のレベルといった決算だったと言えると思っております。

1. FY23 1Q 連結決算サマリ  
地域別売上収益



※「地域別売上収益」は売上先所在地別売上収益を示す

8 Copyright(C) Ebara Corporation, All rights reserved

8 ページ目は地域別の売上収益構成でございます。

今期は日本国内向けの売上は前年同期よりも若干の微増でございましたが、特に海外において各地域で伸びております。中国地域は、昨年の第1四半期の時期というのはゼロコロナ政策によってロックダウン等が盛んに行われておりましたので、事業活動が非常に停滞しておりましたけど、それに比較すると今期は中国のコロナ政策の解除後、市況も改善傾向にあるということで、売上が伸びている状況でございます。

中国を除くアジアは、精密・電子事業を中心に売上を伸ばしております。北米は先ほども申しましたが、エネルギー事業における製品や、サービス&サポートの売上が好調に推移していること、さらに建築・産業事業で、昨年買収しました Hayward Gordon 社の売上増がそのままプラスになっているということもございまして、前年比売上増加に貢献しています。

## 旧セグメント

(単位：億円)	FY22				FY23
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q
風水力	876	1,792	2,702	3,833	1,094
日本	385	674	932	1,322	447
アジア（日本除く）	221	513	811	1,131	262
北米	64	131	234	343	174
欧州	81	190	302	401	74
中東	62	138	211	343	77
その他	60	142	210	291	58
環境	216	364	522	737	178
日本	211	343	499	701	178
アジア（日本除く）	4	20	23	35	0
精密・電子	431	960	1,564	2,222	564
日本	105	213	343	499	102
アジア（日本除く）	228	548	905	1,307	340
北米	51	111	180	233	60
欧州	43	82	128	167	54
その他	2	4	6	15	6

\*FY23 1Qの風水力の数値は旧セグメントでの参考値

24 Copyright(C) Ebara Corporation, All rights reserved

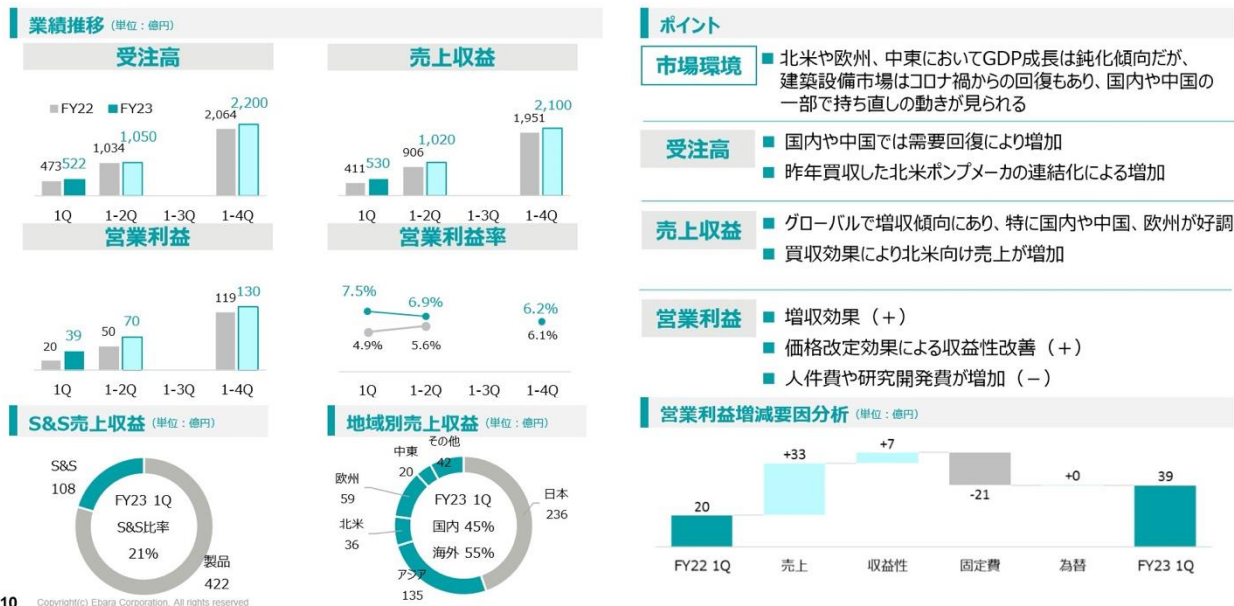
## 新セグメント

(単位：億円)	FY23
	1Q
建築・産業	530
日本	236
アジア（日本除く）	135
北米	36
欧州	59
中東	20
その他	42
エネルギー	359
日本	18
アジア（日本除く）	117
北米	137
欧州	15
中東	55
その他	14
インフラ	203
日本	191
アジア（日本除く）	9
その他	0

セグメントごとの地域別の詳細は24ページにも掲載しておりますので、そちらも併せてご参照ください。

1. FY23 1Q 連結決算サマリ
2. FY23 1Q セグメント別業績
3. FY23 業績予想
4. 補足資料

続きまして、セグメント別の業績の詳細に入ります。5セグメント別にご説明してまいります。



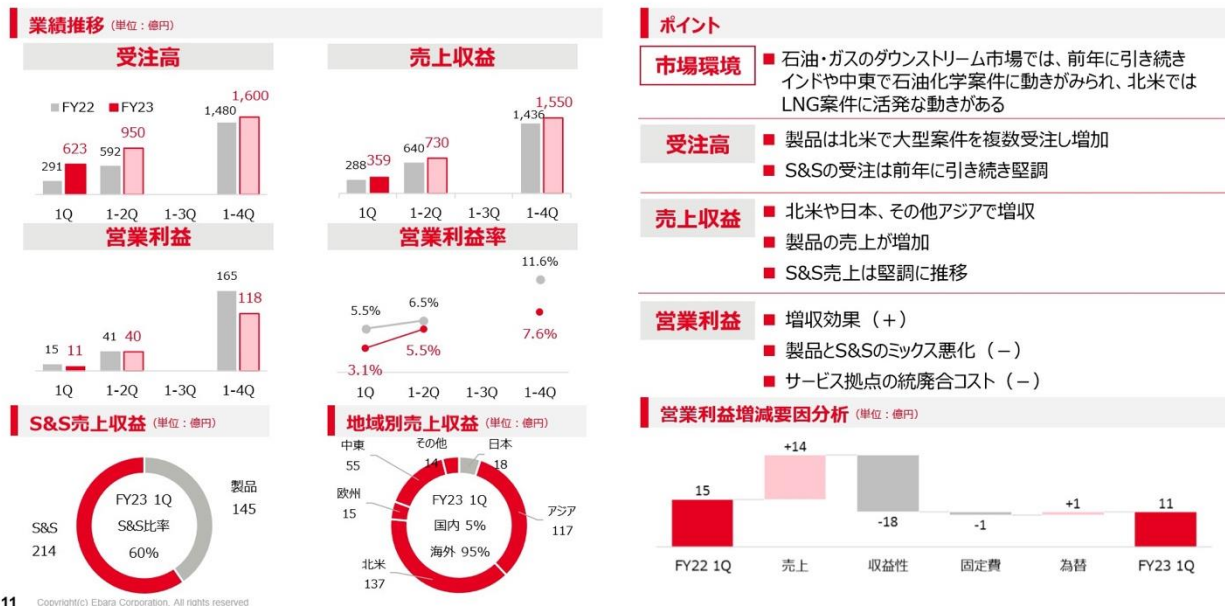
まず 10 ページ目は、建築・産業セグメントでございます。

受注は前年同期から 49 億円増の 522 億円、売上は 119 億円増の 530 億円、営業利益は 19 億円増の 39 億円で、増収増益と比較的好調な決算でございました。

建築設備市場は、北米や欧州などで物価高や金利上昇に伴う景気減速が見られる一方で、国内や中国の一部での回復の動きが見られました。昨年度見られました部材不足や、お客様側の建設工事の遅れによる受け入れの遅れによって、当社が出荷できない状況が続いていたようなことが昨年度ありましたが、それらに関しましては比較的解消が進んできております。そういうこともありまして、国内で受注、売上が増加してきています。

一方で、また、ゼロコロナ政策が解除となった中国でも売上が伸びています。欧州や他の海外地域も昨年積み上がった受注残の消化により、売上は好調に推移しています。Hayward Gordon 社、北米、カナダでの連結化も業績に寄与しているところでございます。

営業利益は人件費や研究開発費などの固定費が増加しておりますが、増収に加えて、製品の価格改定などの効果が現れてきていまして、増益となっているというのが今回の建築・産業事業の状況でございます。



次のページは、エネルギー事業です。

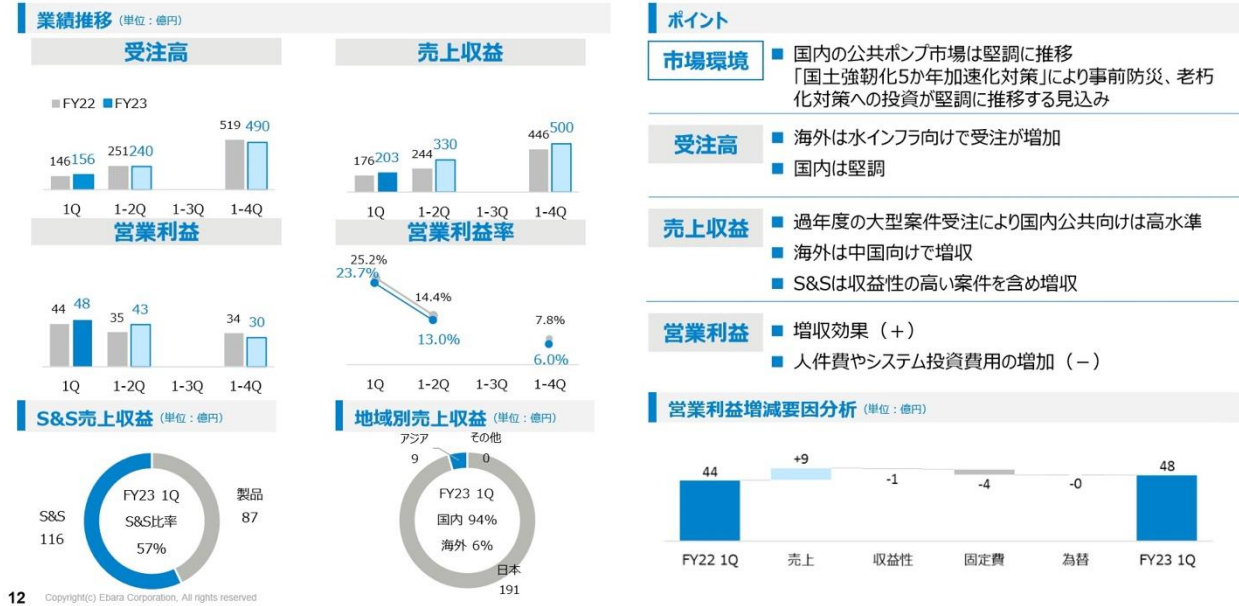
受注は前年同期から 331 億円増加の 623 億円、売上は 71 億円増加の 359 億円、営業利益は 4 億円減少して 11 億円で増収減益となりました。石油・ガス市場で昨年より継続してインドや中東などの石油化学案件が、比較的好調に動いているところがございますが、一方で、昨年までは投資判断を遅らせる動きが見られた北米の LNG 案件も、今期になってからは比較的活発な動きを見せ始めています。

そういうこともございまして、受注高においてはこの第 1 四半期に北米において、LNG の大型案件に関しまして複数件の受注をしまして、昨年同期比で大幅に増加しております。また、サービス&サポートの受注についても、昨年がコロナ後の特需的な環境の中で非常にサービス&サポートの需要が大きかったと申し上げましたが、今期も第 1 四半期までのところは引き続き堅調に推移しています。

一方で、売上も受注同様、製品が昨年比で増加し、サービス&サポートも堅調です。北米、日本、その他アジアで増収となっています。増収減益なので、営業利益が減っていますが、営業利益につきましては、増収効果もあるものの、製品と S&S ミックス、要するに S&S よりも製品の売上が若干増えたことによって、ミックスが悪化したこと。または、今年度、期初計画に入れておりました構造改革の一環として取り組んでいるサービス拠点の統廃合のコストが、本来は第 2 四半期以降に出るはずでしたが、統廃合が順調に進んだことによる前倒しで第 1 四半期に発生して、それらの費

用が発生したことによって、昨年比で減益となっております。それらによって、増収減益というのがエネルギー事業の第1四半期の状況でございます。

## 2. FY23 1Q セグメント別業績 インフラ



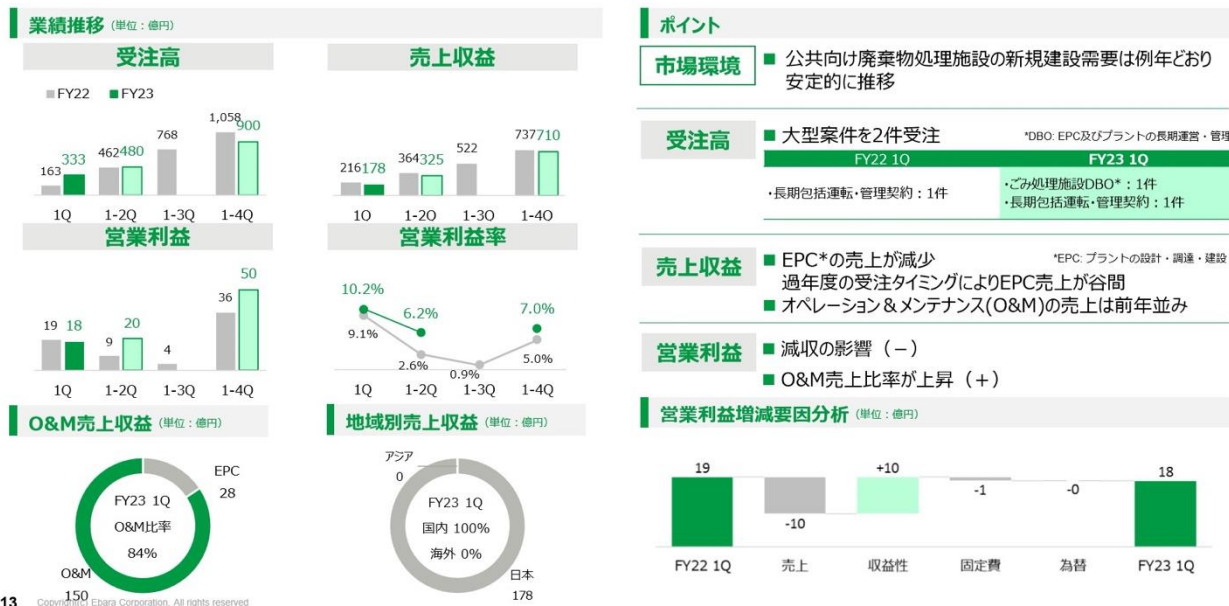
12 Copyright(c) Ebara Corporation. All rights reserved

次が、インフラ事業です。

受注は前年同期比9億円増加の156億円、売上は26億円増加の203億円、営業利益は3億円増加の48億円で、ここは増収増益となっております。このセグメントは主に国内公共事業がメインでして、国交省が掲げる国土強靱化による防災対策や社会インフラの老朽化対策のための投資に対して、それらの投資が見込まれておりまして、底堅い事業環境と認識しております。

受注高は、国内においてポンプ設備の更新、補修工事に対する需要を取り込むことや、その他海外の水インフラ向けで受注も増加しておりまして、全体として堅調に推移しております。売上は過年度に受注した大型案件が貢献し、国内公共向けは比較的高水準の売上で推移しました。海外でも主に中国で売上を伸ばしておりまして、営業利益は固定費が増加しているものの、昨年比で増益となっております。

第1四半期においては、この事業のメインとなるお客様が国内官公需が中心となっておりますので、案件の完工が3月に集中するという季節性から、営業利益率が比較的高い水準となっております。以上がインフラ事業の状況でございます。



Copyright © Ebara Corporation, All rights reserved.

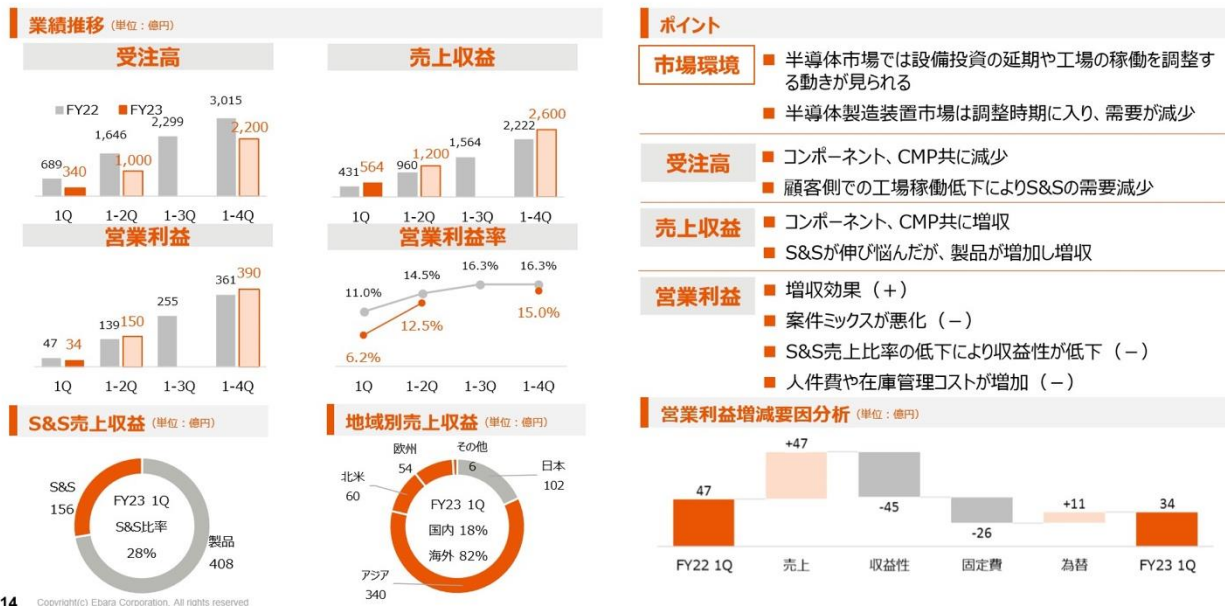
引き続きまして、環境事業です。

受注は前年同期から169億円増加の333億円、売上は37億円減の178億円、営業利益は1億円減の18億円で、減収、利益は微減という状況になっております。

大型の受注案件はごみ処理施設のDBO、それから民需の長期包括案件をそれぞれ1件ずつ受注しております。これらの案件の貢献によって、前年の同期から169億円受注が増加しています。

売上は既に過ぎた年度のEPC案件における受注が少なく、具体的にいうと、去年は受注が多かったのですが、3年前の2020年度におけるEPC案件の受注が少なく、ちょうど3年後ぐらいにEPC案件の受注が少ないと、その3年後ぐらいに売上のピークが来る関係で今期のEPC案件の売上が少し少なめということになっております。そういう背景で、当期のEPC売上が減少したことから、昨年度比で減収となっているという状況です。

一方で、オペレーション&メンテナンスは安定して売上を計上しておりますので、オペレーション&メンテナンスの収益性改善がEPCの売上減少分を補いまして、営業利益は昨年比で若干微減ということで着地しております。以上が環境事業の状況です。



14 Copyright(C) Ebara Corporation, All rights reserved

最後は精密・電子事業です。

受注は前年から 349 億円大きく減少しまして 340 億円となっております。売上は 133 億円増加の 564 億円。営業利益は 12 億円減少の 34 億円で、増収減益となっております。メモリのお客様を中心にしまして、設備投資の延期や工場稼働率の低下によって、半導体製造装置市場の需要が減少している状況でして、これを受けて受注高については期初の想定よりも大きく減少しております。

売上についてはお客様の工場稼働の一部停止や調整などが入ったことで、サービス&サポートの売上については減少しておりますし、製品においては部材不足や部品調達難などの生産混乱は昨年見られましたけど、それはだいぶ改善してきておりまして、受注残をきちんと消化してきておりますので、前年に比較すると増収となってきております。

営業利益については増収分の寄与はありますが、製品のミックスの悪化、それから製品とサービス&サポートのミックスにおけるサービス&サポート比率が下がったことなどによりまして、収益性が低下しているということがございます。

固定費につきましては、引き続きキャリア採用などによる人件費増や在庫管理コスト、昨年度在庫を少し増やした関係もございまして、倉庫代などの在庫管理コストが増加して、営業利益を押し下げるような原因となっております。以上が精密・電子事業です。



1. FY23 1Q 連結決算サマリ
2. FY23 1Q セグメント別業績
- 3. FY23 業績予想**
4. 補足資料

15 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

以上 5 セグメント、それぞれ詳細の説明をしまいましたが、ここから先は、以上の第 1 四半期の着地を踏まえた今期の業績予想のご説明に入らせていただきます。

### 3. FY23 業績予想

#### 連結業績

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	1-4Q								1-2Q							
	FY22 実績	FY23 旧計画 23/02/14	FY23 計画 23/05/15	前期比		旧計画比		FY22 実績	FY23 旧計画 23/02/14	FY23 計画 23/05/15	前期比		旧計画比			
				増減 c-a	増減率 (c-a)/a	増減 c-b	増減率 (c-b)/b				増減 f-d	増減率 (f-d)/d	増減 f-e	増減率 (f-e)/e		
a	b	c					d	e	f							
受注高	8,152	7,880	7,400	-752	-9.2%	-480	-6.1%	3,994	4,055	3,725	-269	-6.7%	-330	-8.1%		
売上収益	6,808	7,530	7,470	+661	+9.7%	-60	-0.8%	3,124	3,835	3,610	+485	+15.5%	-225	-5.9%		
営業利益	705	710	710	+4	+0.6%	-	-	271	372	319	+47	+17.4%	-53	-14.2%		
営業利益率	10.4%	9.4%	9.5%	-0.9pts		+0.1pts		8.7%	9.7%	8.8%	+0.1pts		-0.9pts			
親会社の所有者に帰属する当期利益	504	523	523	+18	+3.6%	-	-	180	254	192	+11	+6.3%	-62	-24.4%		
ROIC*	11.6%	10.4%	10.4%	-1.2pts		-										
ROE	15.0%	13.9%	13.9%	-1.1pts		-										
1株当たり年間配当金	193	195	195	+2		-										
為替レート																
対米ドル (円)	131.37	130.00	130.00	-1.37		-		122.89	130.00	130.00	+7.11		-			
対ユーロ (円)	137.97	137.00	137.00	-0.97		-		134.22	137.00	137.00	+2.78		-			
対人民元 (円)	19.50	19.50	19.50	-		-		18.97	19.50	19.50	+0.53		-			

\*ROIC: ROIC計算式に関してFY23より以下のとおり分子を「従来の親会社の所有者に帰属する当期利益」から「NOPLAT(みなし税引後営業利益)」に変更しており、FY22のROICについても比較のため新計算式を用いている (FY22 従来ROICでは11.2%)  
(計算式) NOPLAT(みなし税引後営業利益) ÷ {有利子負債(期首期末平均) + 親会社の所有者に帰属する持分(期首期末平均)}

16 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

16 ページをご覧ください。今期の事業環境ですけど、半導体製品に対する需要の落ち込みから、半導体関連市場における減速感がより鮮明になってきております。同市場ではお客様側での工場稼

働や設備投資の回復時期についても、期初の想定よりも若干時間がかかるような状況になってきております。

本市場に関しましては、中長期的な市場の見方、2030年に向けて市場が拡大していくことで、次の拡大局面においては今まで以上に急激な拡大が想定されることや、その想定される拡大市場の中で、当社の位置付け、お客様との密接な関係性の中でシェアを拡大していけるようなポジションにあること。そういった市場の想定や当社の位置付けに関する中長期的な想定に関しては、変更はないのですが、今現在の調整局面の回復タイミングという観点で、当初想定したよりも若干時間がかかるという見方の変更をさせていただきます。その関係で、それを今期の業績の予想に反映させております。

一方で、精密・電子事業以外の建築・産業事業やエネルギー事業のセグメントにおいて、期初の想定よりも需要の回復が見られ、比較的強気な決算であったこと、それらのことを踏まえまして、上期および通期の業績予想を上方修正しております。

以上、精密・電子の下方修正、建築・産業およびエネルギー事業の上方修正をネットしまして、全体としては、通期業績として受注に関しては、精密の受注の下方修正が大きいので、期初よりも480億円下げて7,400億円という通期の着地点の想定をしております。

売上は、受注よりはだいぶ少ないですが、それでも60億円を引き下げて7,470億円、営業利益に関しましては、精密・電子事業で若干下がりますが、エネルギー事業および建築・産業事業での上方修正分とネットしまして、期初の710億円を据え置きとし、通期の着地点としては変わらないだろうという捉え方をしております。

営業利益率は9.5%となる見込みでございます。その他の経営指標としてROIC、ROEや配当等に関しましては、現時点において変更はございません。

以上が通期の状況でして、それを踏まえまして、上期の計画につきましては、スライドにおける右側の部分に記載しておりまして、併せて修正をしております。

同じように精密・電子事業では下方修正、建築・産業、エネルギー事業で上方修正、それらのネット全体としての下方修正、第1位四半期から第2四半期に精密・電子事業の期ずれが多いので、その辺りを反映させた上期の修正としております。

### 3. FY23 業績予想 セグメント別



(単位:億円) 発表日(年/月/日)	1-4Q								1-2Q							
	FY22 実績	FY23 旧計画	FY23 計画	前期比		旧計画比		FY22 実績	FY23 旧計画	FY23 計画	前期比		旧計画比			
	a	23/02/14 b	23/05/15 c	増減 c-a	増減率 (c-a)/a	増減 c-b	増減率 (c-b)/b	d	e	f	増減 f-d	増減率 (f-d)/d	増減 f-e	増減率 (f-e)/e		
<b>連結合計</b>	受注高 8,152 売上収益 6,808 営業利益 705 営業利益率 10.4%	7,880 7,530 710 9.4%	7,400 7,470 710 9.5%	-752 +661 +4 -0.9pts	-9.2% +9.7% +0.6% -0.9pts	-480 -60 -	-6.1% -0.8% -	3,994 3,124 271 8.7%	4,055 3,835 372 9.7%	3,725 3,610 319 8.8%	-269 +485 +47 +0.1pts	-6.7% +15.5% +17.4% -0.9pts	-330 -225 -53 -0.9pts	-8.1% -5.9% -14.2% -		
<b>建築・産業</b>	受注高 2,064 売上収益 1,951 営業利益 119 営業利益率 6.1%	2,200 2,060 118 5.7%	2,200 2,100 130 6.2%	+135 +148 +10 +0.1pts	+6.5% +7.6% +8.7% +0.5pts	- +40 +12 +0.5pts	- +1.9% +10.2% -	1,034 906 50 5.6%	1,050 970 55 5.7%	1,050 1,020 70 6.9%	+15 +113 +19 +1.3pts	+1.5% +12.5% +38.5% +1.2pts	- +50 +15 +1.2pts	- +5.2% +27.3% -		
<b>エネルギー</b>	受注高 1,480 売上収益 1,436 営業利益 165 営業利益率 11.6%	1,500 1,550 115 7.4%	1,600 1,550 118 7.6%	+119 +113 -47 -4.0pts	+8.1% +7.9% -28.9% -4.0pts	+100 -	+6.7% -	592 640 41 6.5%	830 730 33 4.5%	950 1,020 40 5.5%	+357 +89 -1 -1.0pts	+60.5% +13.9% -3.9% +1.0pts	+120 -	+14.5% -		
<b>インフラ</b>	受注高 519 売上収益 446 営業利益 34 営業利益率 7.8%	490 500 30 6.0%	490 500 30 6.0%	-29 +53 -4 -1.8pts	-5.7% +12.0% -13.8% -1.8pts	- -	- -	251 244 35 14.4%	240 330 43 13.0%	240 330 43 13.0%	-11 +85 +7 -1.4pts	-4.7% +34.8% +22.0% -1.4pts	- -	- -		
<b>環境</b>	受注高 1,058 売上収益 737 営業利益 36 営業利益率 5.0%	900 710 50 7.0%	900 710 50 7.0%	-158 -27 +13 +2.0pts	-14.9% -3.7% +36.3% +2.0pts	- -	- -	462 364 9 2.6%	480 325 20 6.2%	480 325 20 6.2%	+17 -39 +10 +3.6pts	+3.8% -10.9% +110.4% +3.6pts	- -	- -		
<b>精密・電子</b>	受注高 3,015 売上収益 2,222 営業利益 361 営業利益率 16.3%	2,780 2,700 405 15.0%	2,200 2,600 390 15.0%	-815 +377 +28 -1.3pts	-27.0% +17.0% +7.8% -1.3pts	-580 -100 -15 -3.7%	-20.9% -3.7% -3.7% -	1,646 960 139 14.5%	1,450 1,475 225 15.3%	1,000 1,200 150 12.5%	-646 +239 +10 -2.0pts	-39.3% +25.0% +7.7% -2.0pts	-450 -275 -75 -2.8pts	-31.0% -18.6% -33.3% -		
<b>その他、調整</b>	受注高 13 売上収益 14 営業利益 -13 営業利益率 -89.2%	10 10 -8 -80.0%	10 10 -8 -80.0%	-3 -4 +5 +9.2pts	-27.0% -32.4% -	- -	- -	7 6 -4 -61.9%	5 5 -4 -80.0%	5 5 -4 -80.0%	-2 -1 +0 -18.1pts	-32.0% -28.5% -	- -	- -		

17 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

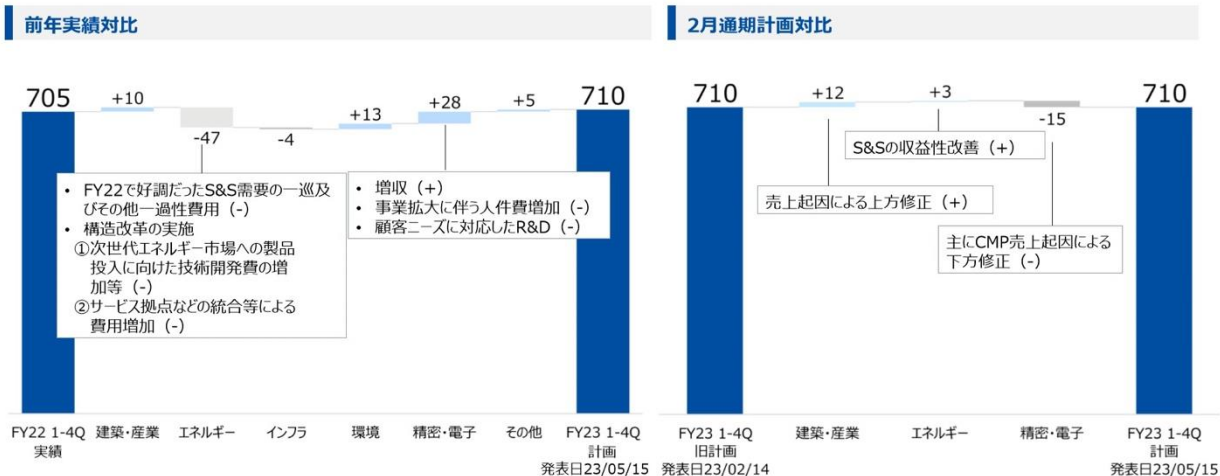
17 ページは、セグメントごとの業績予想の修正内容です。

建築・産業とエネルギー事業の二つのセグメントについて、上期、通期でそれぞれ上方修正を行っております。建築・産業事業は海外で業績が堅調に推移していること、国内は価格改定効果で収益性が改善している状況であることから、通期の売上を40億円、営業利益を12億円上方修正しました。

エネルギー事業については、進捗が好調な受注を通期で100億円増加、それから好調なサービス&サポートの貢献を見込んで、若干ですけど営業利益を3億円通期で上方修正しています。精密・電子事業はCMP、コンポーネントともに市場減速の影響を受けまして、受注、売上、営業利益いずれも下方修正をしております。

下方修正幅は下期が上期より小さくなっております。上期のほうが大きくなってはいますが、これは上期の案件が下期に後ろ倒しになることに加えて、2023年末に向けて市場が多少とも回復してくるだろうという想定のもとに、上期と比較して下期での収益改善を見込んでいる。そういう状況でございます。

精密・電子の業績予想を下方修正も、建築・産業、エネルギーそれぞれの上方修正により、全社営業利益予想は710億円のまま据え置き



営業利益のウォーターフォールチャート、増減分析は、次のページでございます。

23年の営業利益予想710億円について、前年の705億円からの利益増減要因、および期初計画からの利益の修正要因を整理したのとなっております。

左側が前年実績対比ですが、利益増減要因についてもエネルギーと精密・電子事業が大きな変動要因ですが、その内容は期初の想定からあまり大きな変更はございません。

右側は、期初と今回計画の変更を示しておりますが、精密・電子事業の下方修正に対して建築・産業およびエネルギー事業の増益でリカバリーし、通期としては710億円で変わらないという想定としております。

以上、第1四半期決算の状況、および業績見通しの変更に関しましてご説明申し上げます。

ご質問をお受けしたいと思っております。よろしく申し上げます。

1. FY22 1-4Q 連結決算サマリ
2. FY22 1-4Q セグメント別業績
3. FY23 業績予想
4. 補足資料

#### 4. 補足資料 受注高

##### 旧セグメント（～FY22）

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY22			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
連結合計	1,770	3,994	5,945	8,152
風水力	911	1,878	2,866	4,064
ポンプ	578	1,156	1,726	2,274
コンプレッサ・タービン	193	412	652	1,110
冷熱	105	246	382	485
その他	34	62	104	193
環境プラント	163	462	768	1,058
精密・電子	689	1,646	2,299	3,015
コンポーネント	312	631	920	1,162
CMP	357	977	1,330	1,792
その他	20	37	48	60
その他	4	7	10	13

##### 新セグメント

	FY22				FY23				
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q 計画 23/02/14	1-2Q 計画 23/05/15	1-4Q 計画 23/02/14	1-4Q 計画 23/05/15
連結合計	1,770	3,994	5,945	8,152	1,979	4,055	3,725	7,880	7,400
建築・産業	473	1,034		2,064	522	1,050	1,050	2,200	2,200
エネルギー	291	592		1,480	623	830	950	1,500	1,600
インフラ	146	251		519	156	240	240	490	490
環境	163	462	768	1,058	333	480	480	900	900
精密・電子	689	1,646	2,299	3,015	340	1,450	1,000	2,780	2,200
コンポーネント	312	631	920	1,162	241	500	465	1,000	930
CMP	357	977	1,330	1,792	90	900	500	1,700	1,200
その他	20	37	48	60	7	50	35	80	70
その他	4	7	10	13	2	5	5	10	10

4. 補足資料  
売上収益



旧セグメント（～FY22）

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY22			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
連結合計	1,528	3,124	4,800	6,808
風水力	876	1,792	2,702	3,833
ポンプ	516	974	1,472	2,090
コンプレッサ・タービン	224	506	770	1,117
冷熱	101	247	365	486
その他	34	63	93	139
環境プラント	216	364	522	737
精密・電子	431	960	1,564	2,222
コンポーネント	219	458	731	1,014
CMP	195	470	790	1,157
その他	16	30	42	50
その他	3	6	10	14

新セグメント

	FY22				FY23				
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q 計画 23/02/14	1-2Q 計画 23/05/15	1-4Q 計画 23/02/14	1-4Q 計画 23/05/15
連結合計	1,528	3,124	4,800	6,808	1,840	3,835	3,610	7,530	7,470
建築・産業	411	906		1,951	530	970	1,020	2,060	2,100
エネルギー	288	640		1,436	359	730	730	1,550	1,550
インフラ	176	244		446	203	330	330	500	500
環境	216	364	522	737	178	325	325	710	710
精密・電子	431	960	1,564	2,222	564	1,475	1,200	2,700	2,600
コンポーネント	219	458	731	1,014	238	550	495	1,050	1,050
CMP	195	470	790	1,157	317	900	690	1,600	1,510
その他	16	30	42	50	8	25	15	50	40
その他	3	6	10	14	3	5	5	10	10

21 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

4. 補足資料  
営業利益



旧セグメント（～FY22）

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY22			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
連結合計	141	271	426	705
風水力	79	127	176	320
ポンプ	65	84	118	160
コンプレッサ・タービン	4	21	50	132
冷熱	2	11	10	16
その他	6	9	-2	10
環境プラント	19	9	4	36
精密・電子	47	139	255	361
その他、調整	-6	-4	-10	-13

新セグメント

	FY22				FY23				
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q 計画 23/02/14	1-2Q 計画 23/05/15	1-4Q 計画 23/02/14	1-4Q 計画 23/05/15
連結合計	141	271	426	705	152	372	319	710	710
建築・産業	20	50		119	39	55	70	118	130
エネルギー	15	41		165	11	33	40	115	118
インフラ	44	35		34	48	43	43	30	30
環境	19	9	4	36	18	20	20	50	50
精密・電子	47	139	255	361	34	225	150	405	390
その他	-6	-4	-10	-13	0	-4	-4	-8	-8

22 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

4. 補足資料  
受注残高



旧セグメント（～FY22）

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY22			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
連結合計	6,895	7,749	8,132	8,181
風水力	2,387	2,581	2,744	2,697
ポンプ	1,127	1,280	1,402	1,301
コンプレッサ・タービン	1,031	1,074	1,089	1,120
冷熱	149	148	162	142
その他	78	77	90	132
環境プラント	2,798	2,960	3,104	3,174
精密・電子	1,706	2,205	2,281	2,308
その他	2	2	1	0

新セグメント

	FY22				FY23				
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q 計画 23/02/14	1-2Q 計画 23/05/15	1-4Q 計画 23/02/14	1-4Q 計画 23/05/15
連結合計	6,895	7,749	8,132	8,181	8,272	8,401	8,295	8,531	8,110
建築・産業	536			639	617	719	669	779	739
エネルギー	1,366			1,475	1,736	1,575	1,695	1,425	1,525
インフラ	483			583	513	493	493	573	573
環境	2,798	2,960	3,104	3,174	3,329	3,329	3,329	3,364	3,364
精密・電子	1,706	2,205	2,281	2,308	2,075	2,283	2,108	2,388	1,908
その他	2	2	1	0	0	0	0	0	0

23 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

4. 補足資料  
サービス&サポート売上収益



旧セグメント

(単位：億円)		FY22				FY23
		1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q
風水力	S&S売上収益	337	640	918	1,364	439
	S&S比率	39%	36%	34%	36%	40%
ポンプ	S&S売上収益	158	252	339	482	
	S&S比率	31%	26%	23%	23%	
コンプレッサ・タービン	S&S売上収益	137	306	466	705	
	S&S比率	62%	61%	61%	63%	
冷熱	S&S売上収益	35	71	98	154	
	S&S比率	35%	29%	27%	32%	
環境	O&M売上収益	154	247	355	529	150
	O&M比率	71%	68%	68%	72%	84%
精密・電子	S&S売上収益	170	349	556	752	156
	S&S比率	39%	36%	36%	34%	28%

\*FY23 1Qの風水力の数値は旧セグメントでの参考値

新セグメント

(単位：億円)		FY23
		1Q
建築・産業	S&S売上収益	108
	S&S比率	21%
エネルギー	S&S売上収益	214
	S&S比率	60%
インフラ	S&S売上収益	116
	S&S比率	57%

25 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

#### 4. 補足資料 貸借対照表



(単位：億円)	FY22 1Q a	FY22 4Q b	FY23 1Q c	増減 c-a	増減 c-b
資産合計	7,355	8,280	8,582	+1,227	+301
流動資産	5,103	5,806	6,053	+950	+246
現金及び現金同等物	1,189	1,161	1,457	+267	+295
営業債権	2,351	2,530	2,510	+158	-20
棚卸資産	1,340	1,813	1,877	+536	+63
その他流動資産	220	302	209	-11	-92
非流動資産	2,251	2,473	2,528	+276	+55
負債合計	4,085	4,583	4,883	+797	+300
営業債務	1,521	1,746	1,579	+58	-167
有利子負債	1,068	1,193	1,566	+498	+373
その他負債	1,496	1,643	1,737	+241	+94
資本合計	3,269	3,697	3,698	+429	+1
親会社所有者帰属持分	3,180	3,599	3,605	+425	+5
その他資本	88	97	92	+4	-4
親会社所有者帰属持分比率	43.2%	43.5%	42.0%	-1.2pts	-1.5pts
D/Eレシオ	0.34	0.33	0.43	+0.09	+0.10

26 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

#### 4. 補足資料 キャッシュ・フロー

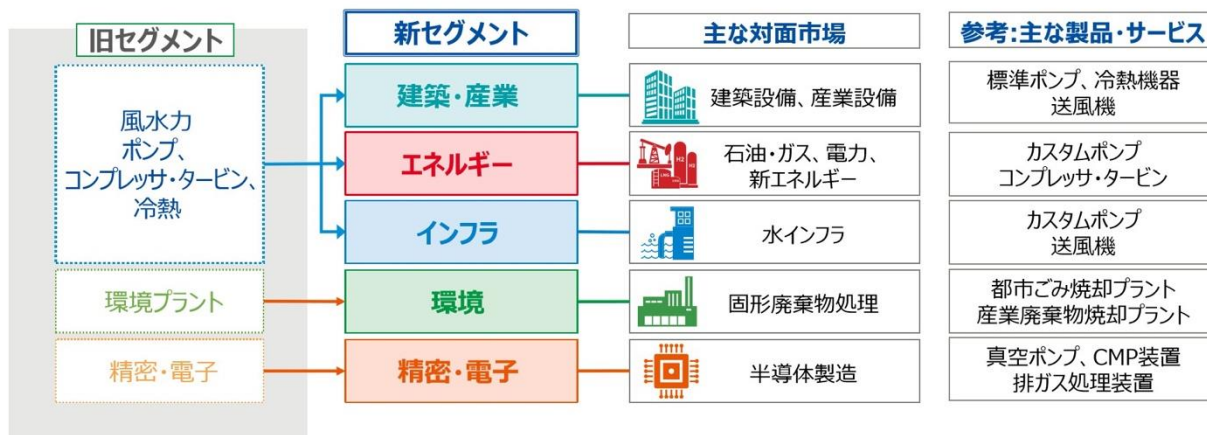


(単位：億円)	1Q			1-4Q				
	FY22 a	FY23 b	増減 b-a	FY22 c	FY23 計画 23/02/14 d	FY23 計画 23/05/15 e	増減 e-c	増減 e-d
営業活動CF	67	122	+54	370	500	500	+129	-
投資活動CF	-65	-83	-18	-383	-570	-570	-186	-
フリーCF	2	38	+36	-12	-70	-70	-57	-
財務活動CF	-210	251	+461	-237	200	200	+437	-

27 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved



2023年1月1日より、事業セグメントを製品軸セグメントから対面市場軸セグメントへ変更



## 免責事項

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。